

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成 30 年 10 月 19 日
 都市名・国 東京都狛江市

取組の名称	狛江市平和祈念事業「5月25日みんなで輪をつくろう」
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input checked="" type="checkbox"/> 複合（狛江市・狛江市平和祈念事業実行委員会）
テーマ・目的	狛江市に空襲があったことを語りつぐ
対象者 (年齢・学年、人数等)	子ども～大人まで、のべ3,979人（平成30年度）
実施場所	市内保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校および市内各所
実施期間	毎年5月25日前後 (狛江市に空襲のあった昭和20年5月25日にあわせて実施しています。)
<p>取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和20年5月25日に、当時の狛江国民学校が空襲で焼けました。その事実を風化させることのないように、毎年5月25日に皆で平和を祈り、手をつないで輪をつくった写真を撮影・募集しています。 ・平和の祭典であるオリンピックの五輪のマークから連想される平和の輪。2人で手を取り合えば輪ができる、という気軽さから始まった取組みです。 ・当時国民学校のあった狛江駅前にて黙とうの後写真を撮影するほか、市内保育園、幼稚園、小中学校等にて撮影しています。 ・狛江にも空襲があったという事実を知り、現在の平和のありがたさを子どもたちにも感じてもらえるよう、各園・各校にて撮影していただいています。保育園では、平和に関する絵本を読み聞かせたうえで撮影に臨む園もあります。学校では、全校朝礼において平和についての講話を聞いたあとに撮影を行うところもあります。 	
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「毎日友だちと仲良く遊んだり、時にはケンカをすることも平和だからこそできるのだということであらためて感じるができる。」（市内保育園園長） ・「実際に狛江で戦後を過ごした。平和は本当に大切。元気である限り毎年参加して平和への祈りを捧げたい。」（駅前における撮影に参加された地域の方） 	
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住む地域にも空襲があったという事実を、広く市民に知ってもらい、平和の大切さについて考えるきっかけとなっています。 	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市内を中心に広く周知していくための工夫を考えていく必要があります。 	
<p>取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影前のパフォーマンスとして、4組のゲスト（歌やダンス、紙芝居）に来ていただきました。（平成30年度） 	
<p>上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能（素材を添付してください） <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



市内小学校における「みんなの輪」



狛江駅前における「みんなの輪」